

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	高悪性度胎児型肺腺癌の AFP 異常発現に関わる分子生物学的異常の同定
	研究目的	高悪性度胎児型肺腺癌(H-FLAC)はまれな肺腺癌で、しばしば AFP という蛋白質を産生するという特徴があります。通常型の肺腺癌では EGFR や ALK などの遺伝子変異を認めますが、H-FLAC の症例ではこのような遺伝子変異の頻度が通常型肺腺癌の症例に比べて低率であることが報告されています。しかしながら H-FLAC についての研究は少なく、分子レベルでの以上については不明な点が多いのが現状です。本研究では、H-FLAC がしばしば AFP 産生を示すことに注目し、免疫染色や遺伝子変異解析などの手法を用いて、H-FLAC に特徴的な遺伝子変異や分子生物学的異常の有無を明らかにすることを目的としています。
	研究期間	2016 年 6 月 23 日から 2019 年 9 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	病理診断科 医師 鈴木理樹
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし